

News

システム建築「クイックメタル」が初採用

JFEシビル 「スピード設計」、「工期短縮」が評価され、配送センターに採用

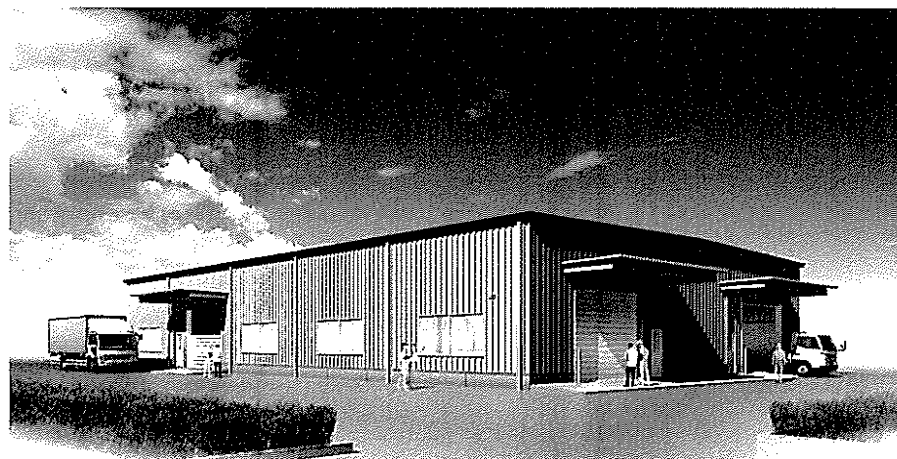
JFEシビル（本社・東京都台東区、藤井善英社長）はこのほど、システム建築商品でスピード設計が特徴な「クイックメタル」の採用第1号物件となる「(仮称)サンキャスト配送センター」(茨城県下妻市)を受注した。短工期ニーズに応える商品として引き合いが増え、今後、受注拡大に向けて営業活動を強化する。

「クイックメタル」は規格化されたユニットを選んで設計するため、基本設計期間を短縮できる。さらに、昨年1月16日付で国土交通省から図書省略認定を取得したため、構造計算書が不要で適合性判定が省略され、工期の大幅な短縮につながる。また、認定の範囲内ですでに設計を終えたユニットの中から形状を選択するため、概算見積価格の算出をスピーディーに行えるのも特長なシステム。

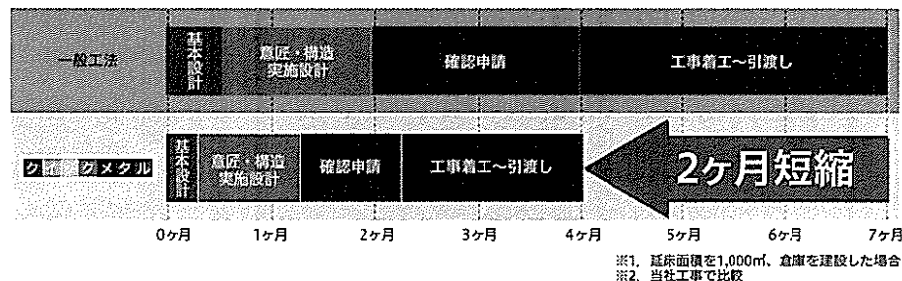
ユニットの大きさはスパン15~32.7m(30cm単位で調整可能)、桁行7.2mで、軒高さを6m、7m、8m、9mの4タイプから選べる。建物の形と大きさが決まったユニットを組み合わせ、225m²から最大2,844.9m²までの延床面積に対応できる。

クイックメタルが初採用されたのは、サンキャストが茨城県下妻市で建設中の自動車部品の配送センター、「(仮称)サンキャスト配送センター」。延床面積は880m²で、クイックメタルの仕様はスパン22.5m×桁行36.6m×高さ6m。施主の意向で5月完成、6月オープンを目指すという限られたスケジュールの中、工期短縮につながる工法を提案し、受注に至った。施工は鈴木鐵工建設が担当する。3月下旬に着工し、5月末竣工の予定。

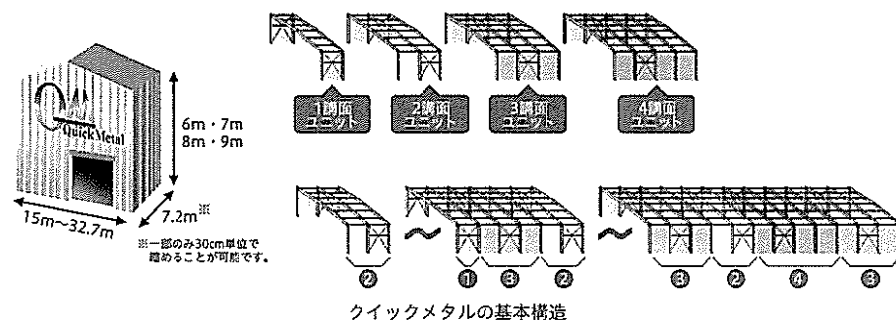
同社は今回の受注を足がかりに営業活動に注力していく考え。今後、全国的に販売拡大を図りたいとし、降雪地域へも適用可能な認定の取得にも取り組む。



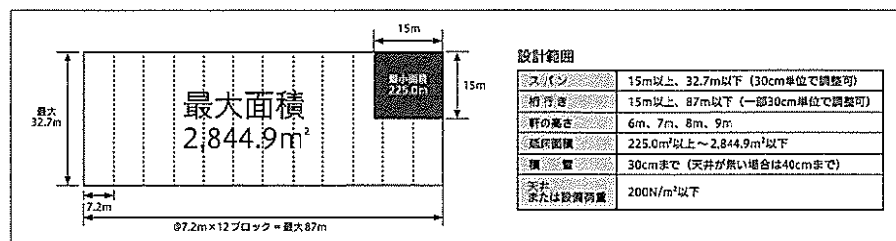
「(仮称)サンキャスト配送センター」の完成予想図



一般工法とクイックメタルの工期比較



クイックメタルの基本構造



クイックメタルの設計範囲